

時事問題演習Ⅳ

科目ナンバリング CAE-202

必修 2単位

賀村 進一

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は社会人になる前の準備教育としての性格をもちます。
社会人には、与えられた(あるいは関心をもった)テーマについての、情報収集(読む・聞く)能力→情報加工(考える)能力→情報発信(書く・話す)能力が必要ですから、これらの能力の養成をはかることがこの授業の目的です。
授業は日本の経済社会を主たる対象とします。採りあげる社会事象をいくつか決め、それについて調べた内容、浮かび上がった問題点についての自分の考え・主張を報告し、その主張について討論します。その際、外国の事例についても調べようとしてください。

2. 授業の到達目標

授業の目的に合致したテーマを選択でき、テーマについての資料を収集し、考え、まとめた自分の主張を文書等で提示し、他の受講生が理解できるようなプレゼンテーションができるようになること、また、ディスカッションができるようになることが目標です。

この目標に到達するために、日本と世界の政治・経済・社会・国際関係について理解できるようになることが必要です。

3. 成績評価の方法および基準

決まったテーマについての報告・プレゼン・ディスカッションを担当することが単位認定の条件です。評価は提出物・発表・討論等の水準によります。証明のある就職試験や欠席、忌引き、出席停止、遅刻や早退等々の扱いについてはガイダンスで説明します。

テーマについてのレジュメ:30%、テーマについての説明・討論:30%、テーマについての質問・討論:20%、期末レポート:20%

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストはありません。

参考文献

参考文献は授業の開始後、指示します。

5. 準備学修の内容

担当者はテーマの報告書やプレゼンテーション、質問への準備を進めること。担当者以外は、質問やディスカッションの準備をすること。

6. その他履修上の注意事項

プレゼンテーションやディスカッションの担当でありながら欠席・遅刻した場合、評価は大きく下がります(D評価となることもあります)。

ガイダンスで興味のあるテーマを尋ねますから2～3のテーマを準備しておいてください。前期の時事問題演習Ⅲで扱ったテーマ以外のテーマにすることが原則です。ただし、前期の時事問題演習Ⅲの授業状況によっては、授業方法をディベート方式に変更する場合があります。その場合には、ガイダンスで説明します。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス。各自、興味のあるテーマ2～3の提出とその説明 (前期の時事問題演習Ⅲで扱ったテーマ以外のテーマにすることが原則)

【第2回】 テーマの確定と担当グループの決定

【第3回】 テーマ1についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第4回】 テーマ1についてのディスカッション

【第5回】 テーマ2についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第6回】 テーマ2についてのディスカッション

【第7回】 テーマ3についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第8回】 テーマ3についてのディスカッション

【第9回】 テーマ4についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第10回】 テーマ4についてのディスカッション

【第11回】 テーマ5についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第12回】 テーマ5についてのディスカッション

【第13回】 テーマ6についてのプレゼンテーションとそれへの質問

【第14回】 テーマ6についてのディスカッション

【第15回】 期末レポートの作成